

人 間 教 育

人間を人間へ教育しつつあるということとは、われ等の、一日も一刻も忘れてならないことである。また此の信念に於てのみ、われ等の日々の業務がほんとうに意味づけられる。或いは、この故にこそわれ等自身が生命づけられるというものである。

教育の必要性を、それぞれの方面と部面とに於て、いろいろ主張する論もある。しかし、われ等の責任感の出発も帰結も、此の教育大本の自覚によって始めて厳かである。子どもと俱に嬉々としてあそび暮しつつ、人間教育の厳かさに生きるもの、それが幼児教育者である。

(倉橋惣三選集第三卷 育ての心より)